

埼玉セッション

埼玉セッション

テーマ

川越の歴史的建築物の修復 施主と設計者は語る

担当 | 埼玉建築士会

歴史的建築物の修復に携わった施主、設計者の生の声を伺います。講演、パネルディスカッションによって、都市近郊の歴史的町並みの維持、活用の重要性、むずかしさ、かかわる人や建築士の役割、今後の課題などを鮮明にする機会としたいと思います。

プログラム

第1部 講演「川越のまちづくりについて」

あらまきすみかず
講師...荒牧澄多氏

第2部 パネルディスカッション

パネリスト...施主 + NPO 法人 川越蔵の会会員(建築家)

日時...平成30年10月26日(金) 12:45 ~ 14:45

会場...大宮ソニックシティ・ホール棟 4F
国際会議室

定員...180名



蔵のまちなみ(写真提供...(公社)小江戸川越観光協会)

講師・コメンテーター 荒牧澄多氏

昭和31(1956)年川越市生まれ。東京都立大学大学院修了後、川越市役所入庁。営繕、再開発、文化財保護、都市景観などの部門を経て、平成29年3月川越市立博物館を最後に退職。在職中、伝統的建造物群保存地区、景観計画、歴史的風致維持向上計画等に関わる。第44回企画展「蔵・倉・くら 蔵造りを知ろう」を担当。これまで、公私ともに川越の町並み保存に関わってきた。現在、NPO法人全国町並み保存連盟常任理事、NPO法人川越蔵の会会員。町や町づくりの諸課題に関するお手伝い人

埼玉セッション

テーマ

埼玉の伝統産業のひとつ...岩槻のお人形 木目込み人形を作ろう

担当 | 埼玉建築士会

今回のもう一つの埼玉セッションは、埼玉建築士会女性委員会が担当する体験型のお人形作りです。

埼玉の節句・ひな人形の生産量は、日本一。その半数近くが、さいたま市岩槻区で作られています。その岩槻より、ご指導に来てくださるのは、経済産業大臣指定伝統的工芸品江戸木目込人形伝統工芸士の森田和雄氏。

2時間という限られた時間ですので、ひな人形までは作れませんが、当日はかわい「ふくろう」のお人形を用意しました。初めてでも楽しく作れる手芸キットです。皆さんと一緒に、木目込み人形の歴史や手法などを学び、自分で作ったお人形をさいたま大会の素敵な思い出にしたいと思っています。興味のある方、奮ってご参加下さい。

日時...平成30年10月26日(金) 12:45 ~ 14:45

会場...大宮ソニックシティ・ビル棟4F
市民ホール第4集会室

定員...60名



木目込み人形



木目込みふくろう